

奈良ゆかり探訪

～知ればその国の人に話したくなる～

新連載

奈良は東アジアから伝わった文化遺産にまつわるゆかりや、世界の国・地域との意外と知られていないゆかりがたくさんあります。普段見慣れた奈良の風景には、おどろくようなエピソードがいっぱい。
 今月開催の“ムジークフェストなら2012”のテーマでもあるドイツと奈良とのゆかりを紹介します。

大安寺 奈良日独親善の地



▲ベルリン大聖堂合唱団訪問

前任職が日独親善に貢献された功績により、大安寺は奈良日独協会の本部となり、アテナウワー元首相をはじめ、多くのドイツ人が訪れています。20世紀の名ピアニストの1人に数えられるウィリアム・ケンプも本堂で1972年と74年の2度奉納演奏を行っています。

奈良×ドイツ



奈良ホテル アインシュタインが演奏したピアノ

1922年にアインシュタイン博士が宿泊した際、博士が演奏したピアノが展示されています。また、奈良ホテルの内装はドイツ様式を模したと言われています。



▲アインシュタイン博士が演奏したピアノ

鹿寄せ ドイツの名曲を合図に鹿が大集合

鹿寄せで奏でられるホルンのメロディーは、ベートーベンの交響曲第6番「田園」のワンフレーズです。奈良の牧歌的イメージとよく合うということで採用されました。



▲鹿寄せ

☎ 県国際観光課 ☎0742-27-8553 FAX0742-23-0620

ならの生きものたち

第14回

奈良県では、最近、絶滅しそうな生きものが増えてきているのよ。原因としては、開発や、里山の荒廃、外来の生きものの侵入などが考えられているわ。ここでは、奈良県でとくに注目されている生きものたちを紹介していくね。

Q & A おしえてコマドリ先生!

Q:どこで生育しているの?
 A:日本では関東以西の本州、四国、九州に分布しているんだけど、生育しているのは、ほんのわずかなところだけなの。奈良県では、大峰山系の八経ヶ岳(天川村、五條市大塔町)のあたりに群生しているわ。ここは貴重な生育場所だということで、昭和3年に「オオヤマレンゲ自生地」として国の天然記念物に指定されたのよ。

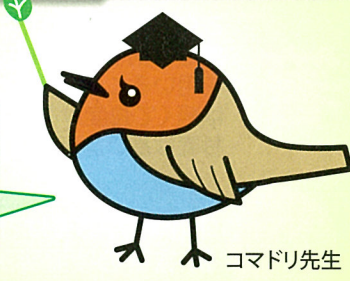
オオヤマレンゲ

【種子植物モクレン科】



絶滅種 絶滅寸前種 絶滅危惧種 希少種

絶滅の危機に直面している植物なの。未来に残していきたいね。



Q:どんな花なの?
 A:2~4mくらいの高さの木に、白色で5~10cmの美しい清らかな花を咲かすのよ。古くから大峯奥駈道で修行する行者に親しまれ、オオヤマレンゲのオオヤマはおみねおくがけみちは大峰山のことなの。八経ヶ岳周辺では7月はじめに花が咲くわ。

Q:どうして絶滅寸前種になったの?
 A:シカに葉っぱや木の皮をどんどん食べられたために枯れてきたといわれているわ。

Q:どんな対策をしているの?
 A:平成8年から県と環境省がまわりを柵で囲って、シカに食べられないようにしているのよ。

☎ 県自然環境課 ☎0742-27-8757 FAX0742-22-7060 奈良の生きもの情報調査 検索